

アメリカ カリフォルニア大学・リバーサイド校

[2022年9月～2023年3月分]

経済学部3年 山本旺次郎



こんにちは。アメリカのカリフォルニア大学リバーサイド校に留学中の山本旺次郎です。私は当初1年間の留学を計画していましたが、コロナウイルスの影響で9月からの半年間のプログラムに変更しました。期間は短くなりましたが、それでも十分に留学生生活を味わえています。このレポートでは留学生生活を振り返りながら、私がどのように留学生生活を楽しんでいるかをお伝えできればと思います。

授業の内容

授業は月曜日から木曜日まであり、主に午前(9時~12時)と午後(1時~3時)で分かれています。午前ではリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能を満遍なく勉強しています。午後では文法の勉強をしています。それに加えて、秋学期ではビジネスクラスもありました。基本的には教科書やオンラインのテキストを使って授業を受講しますが、様々なアクティビティもあり、とても楽しく英語を学べます。授業では積極的に発言することがとても大切で、失敗を恐れずにとみんな発言します。もはやクイズの早押し競争のようで、私はその雰囲気がとても気に入っています。そのような失敗ができる環境は、英語をととても伸ばしやすいと思っています。また、金曜日(3時~4時半)にある城西クラスでは日本語を学んでいるUCRの学生に日本についてプレゼンをしています。ネイティブとの繋がりも増え、お互い日本語と英語を教えあっています。



放課後、週末、ホストファミリーについて

放課後や週末はクラスメイトの中東からの学生や城西クラスなどの繋がりのできた、ネイティブの学生達と遊んでいます。私の友人は車を運転できるので、ボウリングやレストランに行ったり、ロサンゼルスに観光に行ったりしています。他にも車が無くても遊べる場所があります。UCRのジムでスポーツをしたり、たまたまグラウンドでサッカーをしている人を見かけ、一緒にサッカーをしたりと楽しめることは多いです。今では週に一回サッカーをしています。また、近くのカフェで会話をするのもとても楽しいです。友人と一緒にいる時間が増えると自然と英語にも慣れていくので楽しく英語を学べます。

私のホストファミリーはアジアの食べ物をよく作ってくれます。この前は蕎麦を作ってくれて、友人とシェアをして食べました。また、困ったときにはいつでも助けてくれます。ホ

ストファミリーと上手な関係を作るためには、わからないことはちゃんと聞くというのがとても大事です。コミュニケーションを取り続け、お互いを尊重すれば必ず上手くやっていると信じています。



観光について

私は12月の冬休みにニューヨークとサンフランシスコに行きました。観光地としては自由の女神、タイムズスクエア、ゴールデンゲートブリッジなど様々なところに行きました。アメリカ国内でも州が違えば、町の景色も変わってきます。その町の景色を楽しみつつ、観光地を巡るのはとても良い経験になりました。私は友人とでなく、一人で旅行したので、あらゆることを自分自身で解決しました。分からないことがあったら、知らない人に尋ねましたし、時間の管理も自分でした。この一人での旅行を通して、自分にもっと自信が付きました。自分一人でどこでも行けるということはとても自由なことだと感じます。



最後に

私は支えてくださったみなさんのおかげで留学することができました。留学には英語力やお金などの課題もあると思います。それでも一歩踏み出して、挑戦してみれば自分の価値観や考え方などが変わってくると思います。そしてその変化は人生をより良くしてくれます。私は友人を作ることも同じだと思っています。最初は英語力が全くありませんでしたが、勇気を持って食事にさそったら快く受け入れてくれました。そして友人との出会いは私をより明るく、フレンドリーに変えてくれました。その変化は家族や友人、英語の先生までも感じています。実際にここでの毎日はとても楽しいです。みなさんも留学されると自分の変化を感じることができると思います。

